



いわき市立入遠野中学校

葛の葉だより③



発行責任者：校長 佐川 綾子 令和5年(2023年)6月21日(水)発行

令和5年度 市中体連大会が終了

6月1日・2日の市中体連陸上競技大会を皮切りに、市中体連各種競技大会が開催され、本校からは、7日・8日に卓球部、8日に野球部が出場しました。各部とも、新チーム結成からこの日を目指して日々の練習に励み、大会当日は、最後まで諦めず、粘り強く戦う姿が見られました。

スポーツの世界では勝敗がつきもので、中体連も全国大会で優勝しない限り、必ず負ける日が来ます。大切なのは、いつかは負けるその時まで、自分が、「勝つための努力」を一生懸命にしてきたかということです。勝ち負けは、「勝つための努力」を一生懸命にした後に付いてくる結果に過ぎません。「自分の弱さに打ち克つ」ために積み重ねてきた経験は、将来必ず生かせる場面があります。部活動で培ったリーダーシップや忍耐力、チャレンジ精神等を大切に、新しい目標に向け、自信を持ってこれからの中学校生活を送ってほしいと思います。



期末テスト目前 ～学習は計画的に進んでいますか？～

いよいよ今年度最初の定期テストが来週に迫ってきました。学習は計画的に進んでいるでしょうか？テスト後によく「難しかった！」という言葉を目にしますが、この言葉は適切でしょうか？学校で実施する定期テストは、授業で学習したことが基本になっており、教科書やワークブック、プリントなどで、類似した演習問題に取り組んでいるはずですが、このことを踏まえると、「難しかった」という言葉は適切ではなく、正しくは「学習が不十分だった」と言えます。

昨年度の学校便りでも触れましたが、学習でも、それ以外のことで、物事に取り組むときには、

- 1 目標をもつこと 2 計画を立てること 3 実行すること 4 反省すること 5 反省を生かすこと

この、各段階の一つ一つをおろそかにせず、次のステップに向かっていくことが必要です。

数年前に全家庭に配付された県教委作成の『家庭学習スタンダード』では、R-PDCAを通して自己マネジメント力をつけることが大切と記されていました。Plan(計画) Do(実践) Check(反省) Action(次の行動へ)の頭文字からなるPDCAと、自分を知るR(Research)からなっています。定期テストで言えば、「授業やテスト前の勉強を通して身につけている自分の現段階の学力を、テストを通して確かめる。」次に「テスト結果をもとに自分の力や課題を知り、これからの授業の受け方や家庭学習の仕方を改善していく」ということになります。家庭学習において、目標を定め取り組むP・D・Aが大切なことは自明のことですが、自分の力を知り、方法を改善していくC・Rも疎かにはできません。

今後を生き抜くためには「さまざまな力」が必要ですが、その一つに「学力」があります。小学校からの10年以上にもわたる学生時代は、決してテストや進学のためだけに勉強しているわけではありません。学習に向かう態度(集中力や粘り強さ、努力や反復)は、今後、何をやるにしても大切なものです。期末テストまで5日、まだまだやれることはあります。



IWAKI Innovation Challenge 2023 スタート！

6月20日(火)5・6校時に、今年度2・3年生が総合学習の時間に取り組む「IWAKI Innovation Challenge 2023」のオリエンテーションを行いました。

「IWAKI Innovation Challenge」(IIC)では、地震や洪水などの自然災害が多い日本において、防災(「災害を未然に防ぐ」「災害を最小限に抑える」「災害から回復する」という身近な社会課題を解決するためにどうすればいいかを考え、チームごとにSTEM(科学技術)を活用したビジネスプランを立案します。ターゲットは、学校や自宅のあるエリアで、災害時に特に被害を受けてしまう災害弱者。12月7日のビジネスプラン発表会に向け、生徒たちは今後、デザインやアート、STEM分野に関するワークショップに参加したり、大学生や社会人の助言を受けたりしながら、ユニーク(個性的)でイノベティブ(革新的)なプランを立案することが求められます。

防災やSTEM分野について幅広い知識を得るとともに、多様なキャリアを持つ大人とのコミュニケーションを通し、将来のキャリア選択の幅を広げてほしいと思います。



思春期講座 ～生命誕生のすばらしさ～

6月15日(木)の6校時、いわき医療センターの助産技師の先生をお招きして、「思春期講座～生命誕生のすばらしさ～」を行いました。

前半の講話の中では、妊娠の経過や生命誕生の奇跡、産後のお母さんの様子について、スライドを使って説明していただきましたが、中には、誕生直後の赤ちゃんの写真や胎児の心音、へその緒の実物等、普段見聞きできない貴重なものもありました。後半は、専用ジャケットを装着した妊婦体験や、人形による赤ちゃん抱っこ体験をしました。命の尊さを実感したり、様々な立場の人に思いを巡らせ、自分にできることを考えたりする大変いい機会となりました。



【教育目標】

- 進んで学び創造力のある生徒
- 心豊かで思いやりのある生徒
- 心身共にたくましい生徒

〒972-0252

いわき市遠野町上根本字荒神平 20

TEL 0246-89-2514 FAX 0246-89-2574

e-mail iritono-jh@city.iwaki.lg.jp

